



GLOBAL MAPPING NEWSLETTER 49

トリニダードにおける GSDI10 及び ISCGM 非公式会合

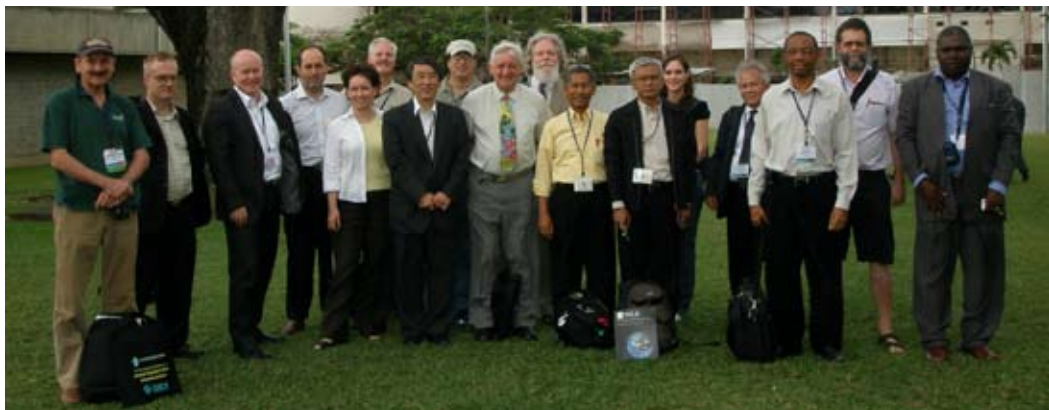
福島 芳和

ISCGM 事務局長

第10回国際全地球空間データ基盤会議（GSDI 10）は2008年2月25日～29日に開催されました。これはカリブ海で開催された初めての国際的な空間データ基盤会議です。本会議のサブタイトルは「全球的な取り組みの中での小島嶼国の展望」でした。初日には10のワークショップが開催され、その1つにアクション・チュートリアルにおける標準がありました。ISO/TC211 普及諮問グループのトム博士の司会でテイラー教授が地球地図仕様の原則及びその整備の経緯について発表しました。PCIDEAのラミレス氏とPAIGHのアリアス氏がそれぞれの標準の活動について発表しました。ワークショップでの議論は非常に活発で参考になりました。これらの発表によってPAIGHがPCIDEAのリーダーシップで標準化を実施し、両機関の活動がこの地域の地球地図整備にどのように貢献しているか理解しました。本会議の2日目はハーラン・オンスルド教授の司会で始まりました。西インド諸島大学のサンカト教授が参加者に歓迎の意を表し、GSDI 10は本大学の60周年記念行事の一環であると述べました。ヤルモ・ラティア GSDI 会長、ラムディン OAS 事務局長、世界銀行のグレイ氏及びトリニダード・トバゴの大臣が歓迎の言葉を述べました。本会議は良くまとま

り、250名を越す参加者がありました。各セッションは国家空間データ基盤構築のために役立つ多くの報告で埋め尽くされました。特にカリブ海地域の小島嶼国の空間データ基盤に関するセッションは非常に活発でした。各省間の空間データ基盤の不均衡を克服する方法、例えば費用・便益の効率化や各島嶼国に適する空間技術の促進などが提議されました。

ISCGM 非公式会合が2月29日に13カ国、20名の参加により開催されました。本会合の議事は地球地図第1版整備に関する情報交換、地球地図フォーラム等、地球地図の利用促進の方策についての議論及び第3段階の方針でした。地球地図の整備状況は面積ベースで49.1%となりました。昨年7月からの15%の増加は地球地図の着実な進展を示しています。チリのエドウィン・ハント氏が、中南米におけるPAIGHの地球地図への大きな貢献について報告しました。また、米国のジェイ・ドネリー氏は、北米における協力体制の現状について説明しました。多くの有意義な意見は第1版データ整備に向け、参加国を勇気づけることになると思います。本非公式会合の報告書は事務局により参加国に配布される予定です。



第3回地球地図ダカールセミナー

中村 孝之

国土交通省総合政策局国際建設室国際協力官



平成 20 年 1 月 28 日・29 日の 2 日間、西アフリカのセネガル・ダカールにある同国測量局において、「第3回地球地図ダカールセミナー」（主催：国土交通省、地球地図国際運営委員会、セネガル測量局）、後援：国際協力機構（JICA）を開催しました。このセミナーは、国土交通省が地球地図パートナーシップ・プログラム（GMPP）の一環として、開発途上国等の地球地図整備を促進するために、国家地図作成機関の職員を対象として開催しているものです。これまで、平成 14～16 年にケニア・ナイロビで、平成 17～18 年にセネガル・ダカールでそれぞれ年 1 回開催しており、今回が 6 回目となります。

本セミナーの目的は以下のとおりです。

- ① 地球地図プロジェクトの意義の理解促進及びプロジェクトへの参加促進
- ② 地球地図データ作成技術の移転及びデータ整備の促進
- ③ 地球地図データ整備を出発点とした国土空間データ基盤整備の推進
- ④ アフリカ地域の国家地図作成機関間の情報交換

セミナー受講生として、コートジボワールから 1 名、ブルキナファソ、ギニア、ニジェール、セネガルから各 2 名の合計 9 名が参加しました。開会式には、セネガル国社会基盤・陸上運輸・通信・情報技術大臣、JICA セネガル事務所長も臨席され、祝辞を述べられました。セミナーは 2 日間でしたが、質問・意見交換が活発になされ、結果として各日とも時間が 2 時間ほど延長となるなど、充実したものでした。

今回のセミナーの成果としては、以下のよう
なことが挙げられます。

- ① セネガルと日本の地図分野での協力関係が一層強化された
- ② 参加国の地球地図プロジェクトに対する認識・理解が深まった
- ③ 新たにプロジェクトへの参加表明があった（コートジボワール）

この 2 日間にわたるセミナーが成功裏のうちに終了したことにより、今後のアフリカ地域における地球地図プロジェクトの推進に対して大きく寄与するものと考えています。



地球地図フォーラム 2008 開催のお知らせ

国土地理院・ISCGM・国際連合大学の主催による「地球地図フォーラム 2008」を日本国・東京において開催します。

参加は事前申込みとなっておりますので、Webサイトより手続きをお願いします。

開催日： 2008年6月5日（木）～6月7日（土）

場所： 国際連合大学（東京都渋谷区）

参加費： 無料（事前登録制）

Web サイト： <http://www.gmforum2008.org/>

プログラム（予定）：

6月5日（木）

- ・開会式
- ・基調講演：ISCGM委員長 ほか
- ・特別講演：月尾嘉男東京大学名誉教授
- ・講演：国連統計部長・ポール・チェン博士 ほか

6月6日（金）

- ・セッション1：（仮）地球地図の整備・更新
- ・セッション2：（仮）広域デジタル地理情報の作成と地球環境分野への利用
- ・セッション3：（仮）地球環境分野への地球地図・広域デジタル地理情報の利用
- ・セッション4：（仮）多様な分野への地球地図・広域地理情報の利用
- ・パネルディスカッション（仮）地球地図第2版整備に向けて
- ・閉会

6月7日（土）

- ・エクスカージョン（「地球地図の学校」参観予定）
- ※地球地図の学校：日本と外国をテレビ会議システムで結び、それぞれの中高生により、地球地図を題材として各国の紹介や意見交換を行う

事務局では、その他フォーラム2008に関しましての質問などお待ちしておりますので、お問い合わせ下さい。

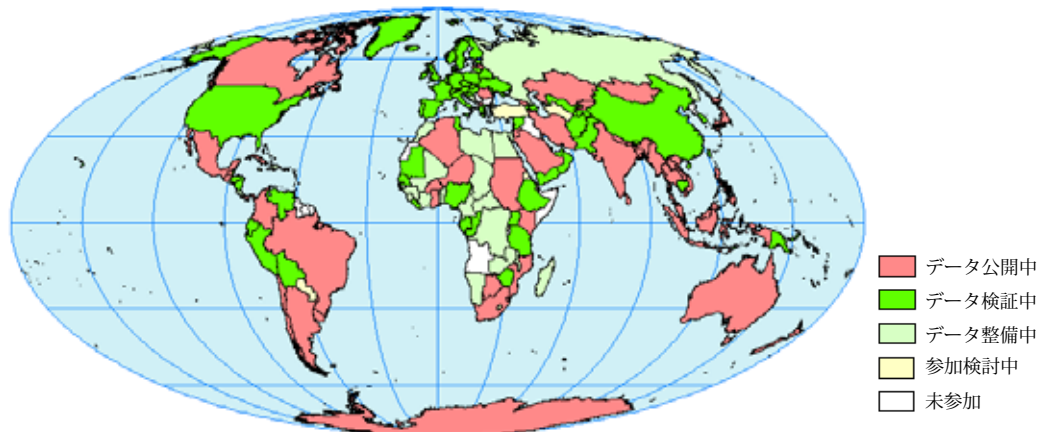


国際連合大学

事務局から

地球地図公開と地球地図プロジェクトへの参加

2007 年 12 月 25 日発行の前号のニュースレターに掲載された以降、新たに 6 カ国の地球地図が公開されました。国 / 地域名とデータ公開日は、グルジア及びモザンビーク（2008 年 1 月 18 日）、ルーマニア及び中国香港特别行政区（2 月 18 日）、チリ（2 月 21 日）及びパレスチナ（3 月 18 日）です。4 カ国が新たにプロジェクトに参加しました。それらの国名と参加日は：コートジボアール（2007 年 12 月 13 日）、モンテネグロ（12 月 19 日）、シエラレオネ（12 月 25 日）及びカーボヴェルデ（2008 年 3 月 12 日）。現在、163 ヶ国 / 16 地域が地球地図プロジェクトに参加しています。



地球地図及び関連の会議

以下は地球地図及び関連の会合の予定です。関連の会合についての情報を歓迎します。

2008 年

- ・ 4 月 15 日～ 17 日、オーストラリア、
キャンベラ
PCGIAP 理事会
- ・ 5 月 29 日～ 30 日、デンマーク、
コペンハーゲン
第 26 回 ISO/TC 211 本会議
- ・ 6 月 4 日、東京
第 15 回 ISCGM 会合
- ・ 6 月 5 日～ 7 日、東京
地球地図フォーラム 2008
- ・ 6 月 14 日～ 19 日、スウェーデン、
ストックホルム
第 31 回 FIG 総会及びワーキング・ウィーク

- ・ 7 月 3 日～ 11 日、中国、北京
第 21 回 ISPRS 会議
- ・ 8 月 19 日～ 22 日、マレーシア、クアラルンプール
第 14 回 PCGIAP 会合及び国際土地管理と空間情報活用による政府に関するシンポジウム
(ISCGM 非公式会合を含む)

2009 年

- ・ 6 月 15 日～ 19 日、オランダ、ロッテルダム
GSDI 11: 第 11 回全地球空間データ基盤会議

編集・発行： 地球地図国際運営委員会事務局

連絡先 : 〒305 - 0811 茨城県つくば市北郷1番 国土地理院内

Tel: 029 - 864 - 6910 Fax: 029 - 864 - 6923

ホームページ: <http://www.iscgm.org/>

E-mail : sec@iscgm.org